

H135		ソーシャルビジネス	
英名科目名	Social Business		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL : 075-325-5350 FAX : 075-325-5317		
担当教員	金治 宏 (キャリア形成学部キャリア形成学科准教授)		
開講期間	2021年09月30日(木)~2022年01月20日(木) 4講時 14時30分~16時00分 休講(冬季休暇)2021年12月30日(木) 休講(月曜授業実施のため)2022年01月06日(木)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	木曜日 4講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	<p>【成績評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み姿勢 (50%)</li> <li>・リフレクションシート (20%)</li> <li>・レポート (30%)</li> </ul> <p>【成績評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み姿勢</li> <li>・授業への出席を基本とし、意欲的に学ぶ姿勢や積極的な参加(発言や意見などを含む)、授業外学習の内容を評価する</li> <li>・リフレクションシート</li> <li>・取り組み内容を評価する</li> <li>・レポート</li> <li>・指定されたテーマについて、授業内容をよく理解し、要点を押さえてまとめられているかを評価する</li> </ul>		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料科目数を問わず10,000円) 聴講生(聴講料10,000円、選考料免除)		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>女子のみ受講可 受講者人数によって、本学開講基準により不開講になる場合があります。</p> <p>【授業時間外学習(予習・復習等)について】 社会問題が山積みなのなか、ソーシャルビジネスへの期待が大きくなっている。ニュース等を通して社会で起こっている事から動きに目を向けてほしい。授業では最新のソーシャルビジネスに関するニュース・出来事についても扱う予定である。</p> <p>【担当者からのメッセージ(履修上の留意点等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュース等を通して社会で起こっている事から動きに目を向け、その本質を考える作業を望む</li> <li>・授業には受け身ではなく、積極的に参加してほしい</li> <li>・社会課題に関心を持ち、解決に何かできることはないかと考えている学生を歓迎する(ボランティアや社会活動の経験は問わない)</li> <li>・講義中は受講生の意見を求めるなど双方向の講義を行いたい。そのため積極的な授業参加を希望する</li> <li>・グループワークによる参加型講義も行う予定。グループワークでは他の学生と協同して意見交換しながら、物事を深く考える姿勢が求められる</li> </ul>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	【授業テーマ】		

社会問題の解決を事業にするソーシャルビジネス(NPOも含む社会的企業等の活動)の可能性と課題を理解する

#### 【授業の概要】

近年、政府や企業による取り組みだけでは対応しきれない様々な社会課題が山積している。その解決手法としてソーシャルビジネスの重要性が認識されている。ソーシャルビジネスとは「社会課題の解決を最優先として、有償のサービスを有給のスタッフで行う事業」を指す。本授業では、まず、ソーシャルビジネスが注目を集める社会背景を検討する。そのうえで、ソーシャルビジネスの担い手としてNPOを中心にその実践例を通して、その可能性と課題、社会課題の解決に向けた具体的方策を学ぶ。ソーシャルビジネスのあり方を考えるにあたっては、行政組織や企業などステイクホルダーとの関係に着目するとともに、できる限り具体的な事例に基づき考究する。より理解を深めるため、実社会で活躍している実践者をゲストに迎えて対話する機会も設ける。

#### 【到達目標】

1. ソーシャルビジネスの特徴や手法、現代社会における意義や役割を理解している
2. ソーシャルビジネスの可能性と課題を理解している
3. ソーシャルビジネスの担い手として自らを捉え、関わり方について自分なりのイメージを持っている

#### 講義スケジュール

##### 【授業計画及び授業内容】

1. ガイダンス：授業の進め方・全体像を理解する
2. ソーシャルビジネスとは何か：ソーシャルビジネスの意義と可能性
3. ソーシャルビジネスの担い手：NPOの組織的特徴
4. 社会の現状を知る：社会課題の多様化
5. ソーシャルビジネスの課題：経済的にどう成り立たせるか
6. ケーススタディ：ゲストスピーカー(予定)
7. ソーシャルビジネスの仕組みづくり
8. 当事者のチカラを考える
9. 経営資源を開発するファンドレイジング：どのように資金調達するのか
10. 行政、企業、地域との協働：コ・プロダクションに注目して
11. 行政、企業、地域との協働：価値共創戦略
12. 制度化という社会変革
13. 企業による社会課題の解決(1)
14. 企業による社会課題の解決(2)
15. まとめ

基本的には上記授業計画に基づき進めるが、受講生の状況等に応じて、授業計画および内容等は変更する可能性がある。詳細は授業内で指示する

##### 【授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック】

授業毎に資料を配布する。授業ではスライドおよび映像を通じて理解を深める。グループワークによる参加型講義も行う予定。授業では毎回リフレクションシートを作成してもらう。

教科書	なし
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨森孝悦(2020)『テキストブックNPO(第3版)：非営利組織の制度・活動・マネジメント』東洋経済新報社</li> <li>・駒崎弘樹(2015)『社会を変えたい人のためのソーシャルビジネス入門』PHP研究所</li> <li>・富永京子(2019)『みんなの「わがまま」入門』左右社</li> <li>・澤村明他(2017)『はじめてのNPO論』有斐閣</li> </ul>